

尊い命を救うために

〜守るよ未来を見つめる小さなひとみ(平成二十一年度児童虐待防止推進月間標語)〜

子育て支援課子ども家庭相談係 ☎236048

近年、子どもに対する虐待の相対件数が急増している。大崎市も例外ではありませぬ。虐待は、心身の成長や人格形成に悪影響をおよぼします。親と子どもだけでなく、家族や地域で支えあって、子どもに対する虐待を未然に防ぎましょう。

■虐待の種類

虐待には、大きくわけて四つの種類があります。

- ① 身体的虐待
なぐる、ける、身体を拘束するなど、命に危険が及ぶようなけがをさせたりする身体的な暴力
- ② 心理的虐待
子どもを無視する、言葉で脅す、子どもの前で配偶者に暴力を振るうなど、心理的な苦痛や不安をあたる行為
- ③ ネグレクト(養育の放棄・保護の怠慢)
食事を与えず家に閉じ込めたり、病气やけがでも医者に診せないなどの放置や養育

育の拒否
性的虐待
性的ないたずらや性的行為を強要し、異性への極端な嫌悪感を与える行為

■「虐待かな」と思ったら 連絡・相談を!

虐待を受けている子どもたちは、なんらかのサインを出しています。ちよつとした目くばりや心づかいで、虐待に気付くことができます。落ち着きがない、おどおどしている、親を避けようとするなどの子どもは、虐待を受けている可能性があります。また、不自然な傷や打撲があつたり、着ている服や髪の毛がいつも汚れているなど、外見から「もしかして」と思うようなときは、虐待の疑いがあります。

そのようなときは、市役所の子育て支援課や各総合支所の保健福祉課などにご相談ください。尊い命を救うため、子どもたちを危険から守りましょう。

※出産や子育てで悩んだときも、気軽に相談ください。

■児童虐待(疑い)の連絡・相談先

- 子育て支援課子ども家庭相談係 ☎236048
- 各総合支所保健福祉課
- 松山 ☎555020
 - 三本木 ☎522114
 - 鹿島台 ☎569029
 - 岩出山 ☎721214
 - 鳴子 ☎823131
 - 田尻 ☎381155
- 宮城県北部児童相談所 ☎220030
- ※地域の民生委員・児童委員、主任児童委員にも連絡や相談ができます。



■火災予防運動

秋の火災予防運動

〜消えるまでゆっくり火の元をらめこす〜

防災安全課消防担当 ☎235144

十一月九日から十五日は、平成二十一年秋の全国火災予防運動期間です。

十月十九日現在、大崎市全体の火災発生件数は五十九件と、昨年同時期と比較し一件増加しています。

秋から冬にかけては空気が乾燥しやすく、暖房器具を扱うなど、火災が起こりやすい時期を迎えます。より一層火災の予防を心がけましょう。

住宅防火いのちを守る七つのポイント

- ① 寝たばこはしない
 - ② ストープは燃えやすいものから離れた位置で使用する
 - ③ ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を止める
- 【四つの対策】
- ④ 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
 - ⑤ 寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する
 - ⑥ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する



▲平成21年度大崎地域広域行政事務組合防火ポスターコンクール最優秀作品 東大崎小学校 4年 藤原 聖斗君

◎お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

住宅用火災警報器の設置はお済みですか

消防法および火災予防条例が改正され、平成二十年六月から、大崎地域では、すべての住宅(寝室・階段・台所)に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

住宅用火災警報器を設置していれば、万が一火災が発生した場合でも、早期発見により被害を最小限に食い止めることができます。

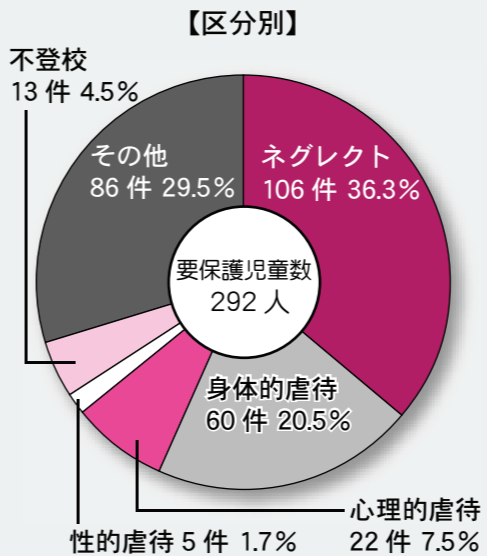
火災から尊い命と貴重な財産を守るため、必ず設置しましょう。

住宅用火災警報器の点検

火災のときに正常に作動するように、一か月に一回程度、鳴動するかどうか点検しましょう。本体から下がっているひもを引くか、ボタンを押すことで確認できます。点検したときに正常に作動しなかった場合は、交換が必要で、乾電池タイプの火災警報器は、電池が切れそうになったときに音や光で交換時期を知らせてくれますので、電池を交換してください。

●平成20年度要保護児童数●

要保護児童…保護者のいない児童または養育が不相当であると認められる児童で、虐待を受けた児童および非行児童なども含まれます。



【年齢別(平成20年度末児童数)】

年齢	男	女	計	年齢	男	女	計
0	6	7	13	10	14	6	20
1	8	11	19	11	13	7	20
2	11	5	16	12	5	5	10
3	1	17	18	13	8	4	12
4	11	8	19	14	13	13	26
5	7	9	16	15	8	11	19
6	8	13	21	16	3	4	7
7	7	6	13	17	1	1	2
8	8	11	19	18	1	1	2
9	11	9	20	計	144	148	292

市長コラム 天・地・人



日本一おいしい水道水「鳴子の水」

このほど、大崎市水道部で製造しているペットボトル「鳴子の水」が、日本テレビの企画番組の「日本一うまい水道水を大調査」において、見事「日本一おいしい水」に輝きました。

極地の氷を含めて約三パーセントに過ぎず、貴重な淡水が人々の生命や生活、経済発展を支えてきました。二十一世紀は「水の世紀」と呼ばれているように、水は貴重な資源です。水道が普及し、水道の水がそのまま飲める日本は、世界でも数少ない国の一つです。

この大崎に、日本最古の上水道の歴史があることをご存知でしょうか。明治十七年(一八八五年)、コレラ防疫のため、古川町に全国初の近代的浄水方法を用いた上水道が完成しました。台町の一角に「古川の水道の歴史」の看板が設置されています。

日本最古の水道!日本一おいしい水道水! 今後は「鳴子の水」が鳴子温泉への誘客や、宝の都(くに)・大崎実現の誘い水になるよう積極的に活用していきます。



▲鳴子の水

大崎市長 伊藤 康志